

令和2年4月13日 教育長ラジオレター

さいたま市立学校の児童生徒の皆さん、おはようございます。さいたま市教育長の細田真由美です。

これまで、学校訪問などで会ったことがある皆さん、お久しぶりです。まだ会ったことがない皆さん、私は、みなさんが勉強やスポーツなどで頑張った時に、校長先生からいただく賞状に名前が書いてある人です。はじめまして。よろしく申し上げます。

さて、突然、学校が臨時休業になってしまってから、もう、6週間もたってしまいました。新学期になれば、学校で、友だちに会える、勉強したり学校行事に取り組んだりできると、指折り数えていた皆さん、4月には、入学式で新しい学校生活が始まるとわくわくしていた新一年生の皆さん、新型コロナウイルスの収束の出口が見えないまま、臨時休業が延長されてしまい、本当にがっかりしたことを思います。

さいたま市立学校の6000人を超える先生方も、皆さんに会えないこと、本当に残念に思ってしょんぼりしています。でも、みなさんが、どうにもならない現状に我慢し

て、自宅にいて、学校から出された課題に取り組んだり、運動不足にならないように時々走ったりしていること、本当にすごいなあ、さいたま市の子どもたちは頑張っているなあと思っています。私も、皆さん一人ひとりの頑張りに心から感謝しています。本当にありがとう。皆さん、本当に頑張っているね。

でも、頑張っている皆さんでも、時々、「ああ、つまらない。もう嫌だあ！これ、いつまで続くの！」って叫びたくなったりしませんか。私も、夜中に突然不安になって飛び起きたりしてしまうこともあるんだよ。皆さんと同じです。

ねえ、皆さん。皆さんの学校の先生方の声聴きたいと思いませんか。先生方も、皆さんに伝えたいことがいっぱいなるのです。

そこで、REDS WAVE の皆さんにご協力いただいて、今日から、さいたま市立学校 168 校の先生方に順番で皆さんにラジオメッセージをお送りすることにしました。先程、清水市長さんのメッセージが届けられましたよね。あんなふうに、順番に、お話していきます。楽しみにしてい

てください。

せっかくですから、私も皆さんにメッセージをお送りします。

それは、「ピンチはチャンス」という考え方です。

今まで、毎日学校に行けば友達に会えて、先生に勉強を教えてもらって、何をやらなければならないか、何をやってはいけないのかが決められていて、少し面倒でも言われたことをきちんとやっていればどこか安心できました。でも、今は違います。自分の頭で考えて、どうやって学ぶか、どうやって運動不足を補うか、どうやって楽しむかについて、知恵を出さなければなりません。自分で考えて行動しなければ毎日が充実しません。今こそ「自分の頭で考える力」を付けるチャンスなんです。

そして、この新型コロナウイルスが落ち着いた後、その力は皆さんのこれからの人生において一番大切な力となります。間違いありません。

あっ、それから、皆さん、自分の頭で考えて見つけた、学び方や運動の仕方や楽しみ方の良いアイデアを、学校に連絡してください。学校のホームページなどで、皆と

共有しましょう。

皆さんは、一人で家にいて学校の課題に取り組んでいるときも、決して一人ではありません。さいたま市立学校に通っている10万人を超える友だちが全員、新型コロナウイルスに打ち勝つために一致団結している仲間です。私は、学校が皆さんの元気な声や笑顔であふれる日々が必ず戻ってくると信じています。皆さん、もう少しです。一緒に頑張りましょう。

さいたま市教育長、細田眞由美でした。